



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社アルファポリス
 コード番号 9467 URL <http://www.alphapolis.co.jp/company/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道 TEL 03-6277-0123

四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,553	18.8	978	112.7	978	112.7	626	113.0
30年3月期第3四半期	2,990	33.0	460	171.3	460	170.8	294	174.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	64.68	
30年3月期第3四半期	30.36	

(注)1. 当社は、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,408		5,053		78.8
30年3月期	5,640		4,426		78.5

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 5,053百万円 30年3月期 4,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	13.9	1,200	58.4	1,200	58.5	800	55.9	82.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成31年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	9,687,400 株	30年3月期	9,687,400 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	120 株	30年3月期	120 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	9,687,280 株	30年3月期3Q	9,687,400 株

(注) 当社は、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

(株式分割後の業績予想について)

当社は、平成30年5月24日開催の取締役会において、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割考慮前に換算した平成31年3月期の業績予想は以下のとおりとなります。

平成31年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 165円16銭(注)

(注) 株式分割考慮前に換算した1株当たり当期純利益金額です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性の懸念等により景気は依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社が属する出版業界におきましては、引き続き厳しい状況が続いております。出版科学研究所によると、平成30年（1月から12月まで）の紙の出版物の推定販売金額は、前年同期比5.7%減となる1兆2,921億円となりました。その内訳は、「書籍」が同2.3%減となる6,991億円、「雑誌」は同9.4%減の5,930億円となっており、「雑誌」が特に厳しい状況となっております。一方、電子出版物については、同11.9%増の2,479億円となり、堅調に成長を続けております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

① ライトノベル

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を下回る157点（前年同期比12点減）となりました。各書籍の売行きにつきましては、『とあるおっさんのVRMMO活動記』等の既存人気シリーズの続巻が堅調に推移したことに加え、『異世界ゆるり紀行』や『素材採取家の異世界旅行記』等の当社投稿サイトから誕生したタイトルの続巻が好調に推移いたしました。また、新シリーズとして新たに刊行した『装備製作系チートで異世界を自由に生きていきます』や『神に愛された子』等のタイトルは増刷となり、売上を伸ばしました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る金額で着地いたしました。

② 漫画

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を大幅に上回る60点（前年同期比12点増）となりました。シリーズ累計470万部を突破した主カタイトルである『ゲート』の最新刊の売行きが堅調に推移したことに加え、『異世界ゆるり紀行』や『素材採取家の異世界旅行記』等の人気シリーズの新規コミカライズが売上を牽引いたしました。また、漫画と親和性の高い電子書籍販売につきましても、大幅に伸ばいたしました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を大きく上回り、当第3四半期会計期間における四半期ベースの売上高は過去最高を大幅に更新いたしました。

③ 文庫

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を大きく上回る112点（前年同期比17点増）となりました。各書籍の売行きにつきましては、『居酒屋ぼったくり』、『異世界でカフェを開店しました。』等の人気シリーズが好調に推移し、売上を牽引いたしました。

また、『霧原骨董店』等、新たなジャンルである「キャラ文芸」の書籍を刊行する等、前四半期に引き続きジャンル拡大に向けた取り組みにも積極的に注力いたしました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る金額で着地いたしました。

④ その他

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期と同数の18点となりました。当第3四半期累計期間では、絵本、ライト文芸、ビジネス書といった幅広いジャンルの書籍を刊行し、取扱いジャンルの拡大に向けた取り組みを行ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の活動の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,553,562千円（前年同期比18.8%増）、営業利益は978,614千円（同112.7%増）、経常利益は978,967千円（同112.7%増）、四半期純利益は626,546千円（同113.0%増）となり、特に当第3四半期会計期間においては、売上高、利益ともに過去最高を更新いたしました。

なお、平成30年1月に実施した当社ゲーム事業の譲渡に伴い、第1四半期会計期間より、報告セグメントを「出版事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前事業年度末の数値で比較を行っております。

① 資産

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末と比較して784,057千円増加し、6,211,034千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比754,700千円増）によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して15,249千円減少し、197,891千円となりました。これは主に、無形固定資産に含まれるソフトウェアの償却を行ったことにより、無形固定資産が減少（同14,146千円減）したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ120,473千円増加し、1,311,299千円となりました。これは主に、返品率の改善に伴い返品調整引当金が減少（前事業年度末比44,344千円減）した一方で、事業が堅調に推移したことに伴い未払法人税等が増加（同159,111千円増）したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ21,788千円増加し、44,591千円となりました。これは主に、運転資金の調達に伴う長期借入金の増加（同22,878千円増）によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ626,546千円増加し、5,053,034千円となりました。これは全て、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,152,938	3,907,638
売掛金	2,037,594	2,020,809
製品	132,638	167,941
仕掛品	87,175	101,395
その他	16,629	13,249
流動資産合計	5,426,976	6,211,034
固定資産		
有形固定資産	12,793	10,784
無形固定資産	55,690	41,543
投資その他の資産	144,657	145,563
固定資産合計	213,141	197,891
資産合計	5,640,118	6,408,926
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,581	55,164
1年内返済予定の長期借入金	34,921	32,144
未払金	411,802	426,025
未払法人税等	111,040	270,152
賞与引当金	32,733	46,730
返品調整引当金	433,097	388,752
その他	103,649	92,330
流動負債合計	1,190,826	1,311,299
固定負債		
長期借入金	18,808	41,686
その他	3,995	2,905
固定負債合計	22,803	44,591
負債合計	1,213,629	1,355,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	2,708,976	3,335,523
自己株式	△137	△137
株主資本合計	4,426,488	5,053,034
純資産合計	4,426,488	5,053,034
負債純資産合計	5,640,118	6,408,926

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,990,779	3,553,562
売上原価	1,012,455	1,009,670
売上総利益	1,978,323	2,543,892
返品調整引当金戻入額	436,579	433,097
返品調整引当金繰入額	412,633	388,752
差引売上総利益	2,002,270	2,588,237
販売費及び一般管理費	1,542,105	1,609,622
営業利益	460,165	978,614
営業外収益		
受取利息	11	14
その他	465	556
営業外収益合計	476	570
営業外費用		
支払利息	358	217
営業外費用合計	358	217
経常利益	460,283	978,967
税引前四半期純利益	460,283	978,967
法人税等	166,154	352,421
四半期純利益	294,129	626,546

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社の報告セグメントは、従来「出版事業」と「ゲーム事業」の2事業に区分しておりましたが、第1四半期会計期間より、「出版事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、平成30年1月に行ったゲーム事業の譲渡に伴うものであります。

これにより、当社の報告セグメントは「出版事業」の単一セグメントとなることから、前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間のセグメントの記載を省略しております。